

# リアルタイム孤立集落推定システムの開発・実証事業

担当府省庁：文部科学省

(事業費：53百万円、対象事業：調査・研究開発事業、事業実施期間：R8)

連携先：内閣府防災

## 事業の目的

発災時に支援を要する地域を迅速に特定し省庁・自治体の初動対応迅速化に資するため、リアルタイムで孤立集落を推定するシステムを開発し、実災害対応や訓練での実証を通じて高い実用性を備えた仕組みとして確立します。

## 事業の内容

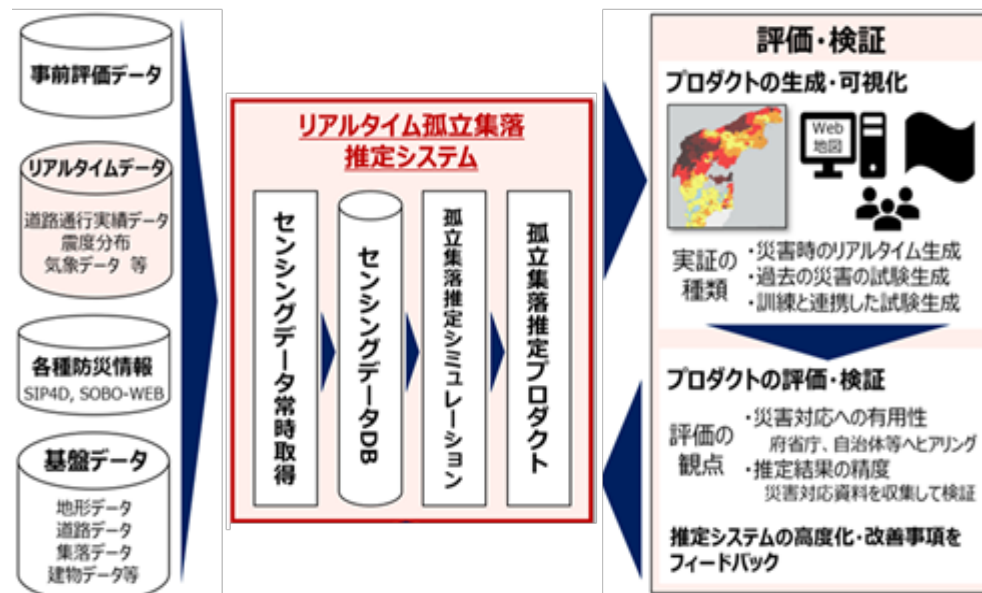
### (現状及び課題)

- 人命救助・医療活動・物資支援等を迅速に実施するためには、**孤立集落を早期に把握できる手段の確立が喫緊の課題です。**
- 内閣府が定めた災害対応基本共有情報（EEI）にも孤立集落が含まれるが、現状は現場からの報告に依存しており、**把握までに時間を要します。**

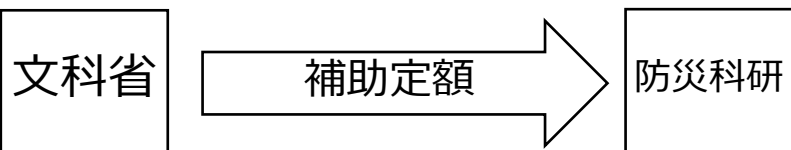
### (取組内容)

- 多様なセンシングデータ（車載センサ、携帯電話センサ、衛星センサ、地震・降雨の観測データ等）を活用し、**リアルタイムに孤立集落を推定する技術を開発します。**
- 「孤立集落推定プロダクト」を**生成・可視化**します。（孤立発生個所、被害状況、滞留人数等の推定情報を、地図や図表として表示）
- 実災害や訓練等**を通じて、プロダクトの**評価・検証**を行い、防災対策への活用に向けてブラッシュアップしていきます。

## 実施イメージ・具体例



## 事業のスキーム



## 事業により得られる効果（アウトカム）

- 災害時に対応が必要な**孤立集落を迅速に把握する手段を獲得。**
- 災害対応機関への**プロダクト共有**を通じて**初動対応迅速化**に貢献。